

特別企画：九州・沖縄地区のメインバンク調査

肥後銀行と鹿児島銀行 経営統合後グループシェア 2 位に ～西シ銀と福岡銀行のシェア 0.1 ポイントに縮小～ はじめに

2014年11月10日、有力地方銀行の肥後銀行と鹿児島銀行は、経営統合を目指すことで基本合意したと発表した。人口減少時代に突入し、金利は歴史的な低水準にあるなか、「地銀再編」の機運は一段と高まっている。2014年12月に帝国データバンク福岡支店が公表した「2015年の景気見通しに対する九州企業の意識調査」では、2015年の景気見通しで「回復」局面にあると見込む企業は2014年の見通し（2013年11月調査）の21.1%から12.5%に減少し、「悪化」の26.8%を大きく下回った。2014年の九州・沖縄地区の円安関連倒産も前年比約3.1倍に増加し、中小企業や地方経済には景気減速感も漂っている。金融機関、とりわけメインバンクは、貸出先である企業の経営や資金繰りに密接に関係するだけでなく、地方の活性化に向けた地域経済の中核的な役割を担っている。

そこで、帝国データバンク福岡支店では、企業情報データベース「COSMOS2」（145万社収録）から、九州・沖縄地区に本店を置く企業（16万2981社）がメインバンクと認識している金融機関について、業態別、県別、業種別、規模別に「メインバンク企業数」を集計した。調査対象は、協同組合や学校法人なども含む全業種全法人で、個人経営も含む（倒産や解散した企業などは含まれていない）。本調査は、2014年1月に続いて5回目。

※ 各金融機関がメインバンクとして実際に取引している企業数とは異なる。また、複数のメインバンクがあるケースでは、最上位の金融機関のみを対象としている。

調査結果（要旨）

- 1.メインバンク企業数は、前回調査に続き西日本シティ銀行（以下、西シ銀）がトップだが、福岡銀行との構成比の差は0.1ポイントに縮小。
- 2.肥後銀行と鹿児島銀行の統合後のメインバンク企業数は構成比12.7%でグループでのシェア第2位。
- 3.佐賀、沖縄を除く6県で、トップ行のシェアが拡大した。なお、福岡県のメインバンク企業数は、福岡銀行がトップ。
- 4.業種別では、「建設」、「卸売」、「小売」、「運輸・通信」の4業種で西シ銀がトップ。
- 5.資本金規模別では、「個人経営」と「1億円以上」で福岡銀行がトップ。

1. メインバンク企業数ランキング ～福銀が西シ銀に接近～

メインバンク企業数は、前回調査に引き続き西シ銀がトップとなった。社数は1万9303社。構成比は11.8%で前回調査に比べ0.2ポイント減少したが、首位を守った。

2～10位は顔ぶれ、順位とも前回調査と変わらず。肥後銀行、宮崎銀行、十八銀行は、それぞれ同0.1ポイント増加した。

本調査を開始した2010年8月、トップの西シ銀と福岡銀行との構成比の差は1ポイントであったが、本調査では0.1ポイントとなった。

グループでのランキングを見ると、トップはふくおか

ファイナンスグループ(以下、ふくおかFG)の2万9616社(構成比18.2%)。2位は統合を発表した肥後銀行と鹿児島銀行の2万626社(同12.7%)、続いて西シ銀と長崎銀行が1万9826社(同12.2%)となった。

金融機関の業態別では、地方銀行が11万4772社(構成比70.4%)で最も多かった。以下、信用金庫が2万748社(同12.7%)、第二地銀が1万5577社(同9.6%)と続いた。都市銀行は2699社(同1.7%)にとどまった。

■メインバンク企業数ランキング

順位	前回	金融機関グループ名	業態	社数	構成比	
					今回	前回
		ふくおかFG		29,616	18.2%	18.2%
		肥後+鹿児島		20,626	12.7%	12.6%
		西日本シティ+長崎		19,826	12.2%	12.3%
1	1	西日本シティ	地銀	19,303	11.8%	12.0%
2	2	福岡	地銀	19,030	11.7%	11.7%
3	3	肥後	地銀	11,720	7.2%	7.1%
4	4	鹿児島	地銀	8,906	5.5%	5.5%
5	5	宮崎	地銀	8,833	5.4%	5.3%
6	6	大分	地銀	8,449	5.2%	5.2%
7	7	佐賀	地銀	7,952	4.9%	5.0%
8	8	琉球	地銀	6,916	4.2%	4.2%
9	9	十八	地銀	6,902	4.2%	4.1%
10	10	親和	地銀	6,574	4.0%	4.0%
12	12	熊本	地銀	4,012	2.5%	2.5%
43	41	長崎	地銀	523	0.3%	0.3%

注) 構成比は、調査対象企業(16万2981社)に占める割合

前回構成比は、2014年1月の調査対象企業(16万1118社)に占める割合

肥後銀行と鹿児島銀行は、2015年10月に持ち株会社を設立、経営統合へグループおよび経営統合後のメインバンク社数は、各行の社数を単純合算した

■金融機関業態別のメインバンク企業数ランキング上位

注) 構成比は、調査対象企業(16万2981社)に占める割合

業態別のメインバンク企業数

順位	業態	社数	構成比	
			今回	前回
1	地方銀行	114,772	70.4%	70.2%
2	信用金庫	20,748	12.7%	12.8%
3	第二地銀	15,577	9.6%	9.6%
4	信用組合	4,024	2.5%	2.5%
5	都市銀行	2,699	1.7%	1.7%

都市銀行

順位	業態	社数	構成比	
			今回	前回
1	三井住友	916	0.6%	0.6%
2	みずほ	874	0.5%	0.6%
3	三菱東京UFJ	670	0.4%	0.4%
4	りそな	239	0.1%	0.1%

注) みずほ銀行は2013年7月にみずほコーポレート銀行と合併

第二地銀

順位	業態	社数	構成比	
			今回	前回
1	熊本	4,012	2.5%	2.5%
2	宮崎太陽	2,311	1.4%	1.4%
3	南日本	2,110	1.3%	1.3%
4	沖縄海邦	1,965	1.2%	1.2%
5	豊和	1,953	1.2%	1.2%

注) 熊本銀行は2013年4月に熊本ファミリー銀行から商号変更

信用金庫

順位	業態	社数	構成比	
			今回	前回
1	福岡ひびき信金	2,518	1.5%	1.6%
2	鹿児島相互信金	2,312	1.4%	1.4%
3	大分みらい信金	1,671	1.0%	1.0%
4	鹿児島信金	1,230	0.8%	0.8%
5	大分信金	1,084	0.7%	0.7%

2. 県別ランキング ～福岡県では福銀がシェア拡大～

福岡県では、福岡銀行がシェアを伸ばした。同行は2011年9月の調査で西シ銀からトップの座を奪って以来、トップを守っている。各金融機関のメインバンク社数のうち、本店を置く県内の企業の割合を示す「地元率」は95.4%で前回調査と比べて0.1ポイント減っているが、メインバンク社数は1万8308社（前回調査比149社増）と伸ばしている。

佐賀県では、隣接する福岡、長崎両県の金融機関との競争が激しく、上位5行の合計構成比は77.2%と前回調査時77.6%よりさらに0.4ポイント減少した。

宮崎県では、ランキング上位に地元外の2行が入るなど、越県での金融競争が激しい。トップの宮崎銀行は、本調査を開始した2010年8月の構成比56.2%から着実にシェアを広げ、本調査では同58.2%（同0.5ポイント増）に伸ばした。鹿児島銀行は、宮崎県内での一般向け貸出金残高（2014年度中間期末時点）を2569億円と前年同時期に比べ35%増やし、メインバンク構成比も3.7%（同0.3ポイント増）に伸ばしている。

■県別メインバンク企業数ランキング上位5行

福岡県

順位	金融機関名	社数	構成比		地元率
			前回		
1	福岡	18,308	34.4%	34.2%	95.4%
2	西日本シティ	17,452	32.8%	33.0%	88.9%
3	福岡ひびき信金	2,516	4.7%	4.7%	99.8%
4	筑邦	1,926	3.6%	3.6%	89.7%
5	福岡中央	1,546	2.9%	2.9%	99.6%
合計		53,147	100.0%	100.0%	—

佐賀県

順位	金融機関名	社数	構成比		地元率
			前回		
1	佐賀	6,634	55.2%	55.6%	83.3%
2	佐賀共栄	898	7.5%	7.4%	94.6%
3	佐賀信金	804	6.7%	6.7%	99.3%
4	伊万里信金	496	4.1%	4.2%	97.6%
5	西日本シティ	443	3.7%	3.6%	2.3%
合計		12,008	100.0%	100.0%	—

長崎県

順位	業態	社数	構成比		地元率
			前回		
1	十八	6,625	45.2%	44.8%	95.3%
2	親和	5,696	38.9%	39.2%	86.3%
3	たちばな信金	477	3.3%	3.3%	100.0%
4	長崎	446	3.0%	3.1%	85.3%
5	西日本シティ	249	1.7%	1.8%	1.3%
合計		14,656	100.0%	100.0%	—

熊本県

順位	業態	社数	構成比		地元率
			前回		
1	肥後	11,517	59.8%	59.5%	98.1%
2	熊本	3,719	19.3%	19.4%	92.6%
3	熊本第一信金	845	4.4%	4.4%	99.9%
4	熊本中央信金	615	3.2%	3.2%	99.2%
5	熊本信金	535	2.8%	2.8%	99.8%
合計		19,275	100.0%	100.0%	—

注)熊本銀行は2013年4月に熊本ファミリー銀行から商号変更

大分県

順位	業態	社数	構成比		地元率
			前回		
1	大分	8,166	50.4%	50.3%	96.4%
2	豊和	1,848	11.4%	11.4%	94.5%
3	大分みらい信金	1,652	10.2%	10.4%	98.9%
4	大分県信組	1,207	7.5%	7.5%	99.8%
5	大分信金	1,084	6.7%	6.8%	99.9%
合計		16,187	100.0%	100.0%	—

宮崎県

順位	業態	社数	構成比		地元率
			前回		
1	宮崎	8,557	58.2%	57.7%	96.6%
2	宮崎太陽	2,145	14.6%	14.8%	92.7%
3	高鍋信金	902	6.1%	6.2%	99.8%
4	鹿児島	540	3.7%	3.4%	6.0%
5	西日本シティ	477	3.2%	3.4%	2.4%
合計		14,707	100.0%	100.0%	—

鹿児島県

順位	業態	社数	構成比		地元率
			前回		
1	鹿児島	8,330	48.9%	48.8%	93.3%
2	鹿児島相互信金	2,310	13.6%	13.7%	99.8%
3	南日本	1,830	10.7%	10.7%	86.7%
4	鹿児島信金	1,230	7.2%	7.2%	99.9%
5	鹿児島興業信組	695	4.1%	4.1%	99.7%
合計		17,026	100.0%	100.0%	—

沖縄県

順位	業態	社数	構成比		地元率
			前回		
1	琉球	6,916	43.3%	43.6%	99.8%
2	沖縄	5,981	37.4%	37.1%	99.8%
3	沖縄海邦	1,965	12.3%	12.5%	99.8%
4	コザ信金	471	2.9%	2.9%	100.0%
5	沖縄県農協	337	2.1%	2.1%	100.0%
合計		15,975	100.0%	100.0%	—

福岡県の中でも特にシェア争いが激化している北九州市内では、福岡銀行が唯一、構成比を25.3%（前回調査比0.6ポイント増）に伸ばし、「一人勝ち」状態となった。ふくおかFGが2013年3月に、同市内に本社機能を備えた「北九州本社ビル」を開設し、同地区の営業体制を強化しているのが要因とみられる。一方、同市に本店を置く唯一の地方銀行である北九州銀行（2011年10月開業）は、構成比を8.2%（同0.2ポイント減）に減らし、福岡ひびき信用金庫も、構成比16.6%（同0.3ポイント減）となり、福岡銀行にシェアを奪われた構図が見えてくる。

福岡地方では、福岡銀行が構成比を35.9%（同0.3ポイント増）に伸ばしたほか、北九州銀行と佐賀銀行もそれぞれ構成比を同0.1ポイント増やすなど、熾烈な「越境」での貸出競争が繰り広げられている。

■福岡県内の地方別メインバンク企業数ランキング

金融機関名	北九州地方						福岡地方				筑豊地方		筑後地方		合計	
	社数	構成比		うち北九州市内			社数	構成比	うち福岡市内		社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比
		前回	社数	構成比	前回構成比	社数			構成比							
福岡	3,708	27.1%	26.6%	2,757	25.3%	24.7%	9,227	35.9%	6,649	36.8%	2,165	44.4%	3,208	36.2%	18,308	34.4%
西日本シティ	4,358	31.8%	32.0%	3,583	32.9%	33.0%	10,324	40.1%	7,014	38.9%	1,186	24.3%	1,584	17.9%	17,452	32.8%
福岡ひびき信金	2,219	16.2%	16.4%	1,812	16.6%	16.9%	27	0.1%	21	0.1%	270	5.5%	0	0.0%	2,516	4.7%
筑邦	73	0.5%	0.5%	67	0.6%	0.6%	518	2.0%	305	1.7%	5	0.1%	1,330	15.0%	1,926	3.6%
福岡中央	241	1.8%	1.8%	194	1.8%	1.8%	1,033	4.0%	725	4.0%	104	2.1%	168	1.9%	1,546	2.9%
北九州	957	7.0%	7.1%	891	8.2%	8.4%	196	0.8%	159	0.9%	35	0.7%	33	0.4%	1,221	2.3%
佐賀	54	0.4%	0.4%	51	0.5%	0.5%	917	3.6%	616	3.4%	3	0.1%	196	2.2%	1,170	2.2%
飯塚信金	3	0.02%	0.00%	3	0.03%	0.00%	78	0.3%	40	0.2%	602	12.3%	0	0.0%	683	1.3%
三井住友	126	0.9%	1.0%	121	1.1%	1.1%	320	1.2%	286	1.6%	12	0.2%	128	1.4%	586	1.1%
親和	173	1.3%	1.3%	170	1.6%	1.6%	331	1.3%	270	1.5%	10	0.2%	69	0.8%	583	1.1%
合計	13,687	100.0%	100.0%	10,893	100.0%	100.0%	25,727	100.0%	18,053	100.0%	4,877	100.0%	8,856	100.0%	53,147	100.0%

【北九州地方】北九州市、行橋市、豊前市、中間市、遠賀郡、京都市、築上郡

【福岡地方】福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、糸島市、筑紫郡、糟屋郡

【筑豊地方】直方市、飯塚市、田川市、宮若市、嘉麻市、鞍手郡、嘉穂郡、田川郡

【筑後地方】大牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、小郡市、うきは市、みやま市、朝倉市、朝倉郡、三井郡、三潨郡、八女郡

3. 業種別ランキング ～4業種で西シ銀がトップ～

西シ銀は、「建設」（構成比 13.4%）、「卸売」（同 13.5%）、「小売」（同 10.4%）、「運輸・通信」（同 11.5%）の4業種でトップを維持した。「不動産」は前回調査で、トップに返り咲いた福岡銀行が首位を守り、構成比を 12.8%（前回調査比 0.2 ポイント増）に伸ばした。

「サービス」では、肥後銀行が構成比を 7.6%（同 0.4 ポイント増）に伸ばした。

■業種別メインバンク企業数ランキング上位5行

建設

順位	金融機関名	社数	構成比	
			今回	前回
1	西日本シティ	6,540	13.4%	13.5%
2	福岡	5,885	12.0%	12.1%
3	肥後	3,796	7.8%	7.8%
4	宮崎	2,682	5.5%	5.5%
5	鹿児島	2,612	5.3%	5.3%
合計		48,864	100.0%	100.0%

製造

順位	金融機関名	社数	構成比	
			今回	前回
1	福岡	1,538	12.1%	12.0%
2	西日本シティ	1,353	10.6%	10.7%
3	肥後	887	7.0%	7.0%
4	佐賀	763	6.0%	6.0%
5	大分	755	5.9%	5.9%
合計		12,755	100.0%	100.0%

卸売

順位	金融機関名	社数	構成比	
			今回	前回
1	西日本シティ	2,429	13.5%	13.6%
2	福岡	2,337	13.0%	13.0%
3	肥後	1,174	6.5%	6.5%
4	宮崎	936	5.2%	5.2%
5	鹿児島	933	5.2%	5.1%
合計		18,009	100.0%	100.0%

小売

順位	金融機関名	社数	構成比	
			今回	前回
1	西日本シティ	2,374	10.4%	10.5%
2	福岡	2,090	9.1%	9.3%
3	肥後	1,602	7.0%	7.1%
4	宮崎	1,319	5.8%	5.4%
5	大分	1,296	5.7%	5.6%
合計		22,846	100.0%	100.0%

不動産

順位	金融機関名	社数	構成比	
			今回	前回
1	福岡	1,166	12.8%	12.6%
2	西日本シティ	1,119	12.2%	12.4%
3	琉球	562	6.1%	6.3%
4	鹿児島	544	6.0%	5.9%
5	肥後	502	5.5%	5.6%
合計		9,139	100.0%	100.0%

運輸・通信

順位	金融機関名	社数	構成比	
			今回	前回
1	西日本シティ	617	11.5%	11.7%
2	福岡	606	11.3%	11.4%
3	肥後	325	6.1%	6.3%
4	鹿児島	304	5.7%	5.8%
5	琉球	271	5.1%	4.7%
合計		5,356	100.0%	100.0%

サービス

順位	金融機関名	社数	構成比	
			今回	前回
1	福岡	5,139	12.4%	12.5%
2	西日本シティ	4,678	11.3%	11.4%
3	肥後	3,168	7.6%	7.2%
4	大分	2,635	6.3%	6.4%
5	鹿児島	2,431	5.9%	5.9%
合計		41,544	100.0%	100.0%

4. 資本金規模別ランキング ～肥後銀行が中堅・大企業を中心にシェア拡大～

西シ銀が、「1000万円未満」（構成比 10.8%）と「1000万円以上1億円未満」（同 14.4%）でトップになったのに対し、福岡銀行は、「個人経営」（同 10.9%）と「1億円以上5億円未満」（同 12.5%）、「5億円以上」（同 14.6%）でそれぞれトップになった。

西シ銀は、「5億円以上」では前回調査比 0.1 ポイント増加し、「1000万円以上1億円未満」では同シェアだったが、それ以外では、同 0.1～0.4 ポイント減少している。一方、福岡銀行は、「個人経営」で同 0.2 ポイント、「1億円以上5億円未満」で同 0.6 ポイント減少したが、「1000万円未満」と「1000万円以上1億円未満」、「5億円以上」は同シェアか、同 0.1～0.2 ポイント上昇した。

肥後銀行は「5億円以上」で同 0.6 ポイント増加したほか、「1億円以上5億円未満」でも、前回ランク外だったが今回 4 位に入り、同 2.0 ポイント増加した。中堅・大企業を中心として経営基盤強化を進める戦略がうかがえる。

■ 資本金規模別メインバンク企業数ランキング上位5行

個人経営

順位	金融機関名	社数	構成比	
			前回	
1	福岡	3,068	10.9%	11.1%
2	西日本シティ	2,896	10.3%	10.7%
3	佐賀	1,866	6.6%	6.6%
4	宮崎	1,742	6.2%	5.9%
5	肥後	1,622	5.8%	5.7%
合計		28,172	100.0%	100.0%

1000万円未満

順位	金融機関名	社数	構成比	
			前回	
1	西日本シティ	7,803	10.8%	10.9%
2	福岡	7,165	9.9%	9.8%
3	肥後	5,632	7.8%	7.9%
4	大分	4,296	5.9%	5.9%
5	鹿児島	4,026	5.6%	5.5%
合計		72,347	100.0%	100.0%

1000万円以上1億円未満

順位	金融機関名	社数	構成比	
			前回	
1	西日本シティ	7,907	14.4%	14.4%
2	福岡	7,817	14.2%	14.2%
3	肥後	3,833	7.0%	6.9%
4	鹿児島	3,090	5.6%	5.6%
5	大分	2,691	4.9%	4.9%
合計		55,046	100.0%	100.0%

1億円以上5億円未満

順位	金融機関名	社数	構成比	
			前回	
1	福岡	614	12.5%	13.1%
2	西日本シティ	459	9.3%	9.4%
3	鹿児島	410	8.3%	8.4%
4	肥後	407	8.3%	6.3%
5	宮崎	352	7.2%	7.3%
合計		4,911	100.0%	100.0%

5億円以上

順位	金融機関名	社数	構成比	
			前回	
1	福岡	366	14.6%	14.4%
2	鹿児島	253	10.1%	10.3%
3	西日本シティ	238	9.5%	9.4%
4	肥後	226	9.0%	8.4%
5	大分	170	6.8%	7.0%
合計		2,505	100.0%	100.0%

5. まとめ

九州・沖縄地区では、中小企業向けに幅広い地盤をもつ西シ銀がメインバンク数でトップシェアを守ったが、福岡銀行との構成比の差は0.1%ポイントに縮小した。また、地場金融機関も地元のみならず、県を越えて地盤強化に取り組み、メインバンク先として着実にシェアを拡大している。

経営統合を発表した肥後銀行と鹿児島銀行は、経営統合後の預金残高（2014年度中間期末時点の単純合算）で西シ銀を押さえ同地区で第2位に浮上するが、メインバンク企業数の単純合算でも同様の結果となることがわかった。統合後、広域的な情報提供や企業マッチングなど統合の利点を生かし、メインバンクとしてどれだけ営業基盤の強化を図れるかが注目される。

福岡地方でシェアを伸ばしている北九州銀行は、3月に筑紫野支店（福岡県筑紫野市）を開設するほか、2015年度上半期に飯塚支店（福岡県飯塚市）と中津支店（大分県中津市）を新設する方針だ。各行の陣取り合戦は本格化し、生き残りをかけた貸し出し競争はますます激化しそうだ。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 福岡支店 情報部 担当：辻 さえ美

TEL：092-738-7779 FAX：092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。